

校長室だより 第13号

校長 瀧 俊彰

思い出いっぱいの二学期が終了します。

令和5年度の二学期もいよいよ今日終業式を迎え終了します。5月のコロナ感染症の5類移行以来、今までの制約もなくなり二学期は通常の充実した学校生活を送ることができました。また、学校行事も本来の形で実施できうれしく思います。



10月20日に体育祭を実施しました。昨年度までは9月下旬に実施していましたが、熱中症などの対応のために時期に変更した結果生徒たちの体調管理も十分できていました。また、体育祭に初めて縦割り活動を取り入れました。実施種目と競技方法を工夫し、一年から三年のチーム対抗で競い合う場面もありました。さらに各チームの競技中の応援、応援合戦で大変盛り上がった大会となりました。生徒一人ひとりが楽しそうに取り組んでいる姿は気持ちのいいものでした。

11月10日には合唱コンクールが浪切ホールで開かれました。この日に向けて、長い時間をかけて練習に励んできました。この取り組みには拍手を送りたい気持ちでいっぱいです。そして当日の発表では練習の成果を十二分に発揮してくれました。素晴らしい時間と空間でありました。特に3年生の発表は見事なものでした。練習で培ったクラスのまとまりと達成感を感じてくれたことでしょう。コンクールの結果以上に練習の過程を大切にしてください。



各行事には大勢の保護者、地域の皆様に参観いただき（体育祭470人、合唱コンクール480人）、生徒たちの頑張っている姿、成長した姿をしっかりと見ていただきありがとうございました。

体育祭、合唱コンクールの大きな行事はもちろんのこと、その他の各行事でも大きな成果をあげてくれ達成感、所属感を得たことでしょう。行事面では十分に評価できます。



しかし気になる点もあります。それは学習面のことです。きちっと取り組んでいる人とそうでない人との差が大きくなってきていることです。学力向上のためには『授業を大切にすること』、『家庭での学習をすすめること』が絶対に必要な条件です。まずは授業に真剣に取り組んでください。そして『家庭での学習』に取り組みましょう。その日の授業内容の復習や理解の度合いを練習問題などで確認することが大切です。冬休みは短い期間ではありますが、家庭での学習をすすめ、学習習慣を確立してください。また、3年生はそれぞれの目標に向かって力をつける最後のチャンスと考え努力してください。

今年もあとわずかとなりました。あわただしい年の瀬ですが、年末年始は今年を省みて、新しい年への希望を持つ時期であると思います。保護者や地域の皆様のご支援、ご協力に心から感謝申し上げますとともに、皆様にとって令和6年が素晴らしい年となるようお祈りいたします。

令和5年12月22日 岸和田市立光陽中学校